

日本医師会発行 『医療係争事例から学ぶ』 を医療事故の再発予防の参考書に

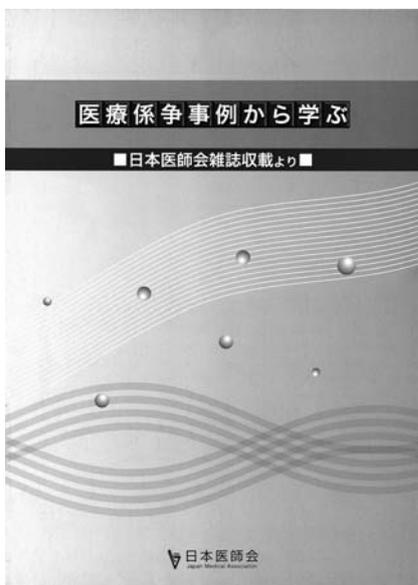
常任理事 医療安全・医事法制部長 水谷 匡宏

去る2月25日に開かれた厚生労働省の「医療事故調査制度の施行に係る検討会」では、最終回を迎え、医療事故に関するガイドラインの概要が提示されるかどうか、大変注目を集めました。

しかしながら、院内事故調査委員会による報告書の取り扱い（遺族への交付）をめぐり、医療者側と患者側の主張に大きな相違があるため意見集約ができず、さらに、同報告書に再発防止策を記載することの義務化についても、同様に合意には至りませんでした。

その後、3月20日になって、遺族側へ説明する方法については「調査の目的・結果について、遺族が希望する方法で説明するよう努めなければならない」と記載することで決着し、今後の方針が示されました。

本制度の10月の運用開始に向け、平成25年1月に日本医師会が発行した「医療係争事例（模擬事例）から学ぶ」（190頁の冊子）をご参考とされるなど、会員諸先生の日常業務にお役立ていただきたく、ご案内申し上げます。



「医療係争事例から学ぶ」は、日医雑誌において平成19年10月号から平成23年10月号まで連載されたもので、医療事故を減らしていくことを目標として、頻度の高い事件事例の原因分析からみた再発予防策と留意点をまとめたものです。下記の日本医師会ホームページ内、会員限定メンバーズルームに掲載されております。

記

日本医師会ホームページ「医療係争事例から学ぶ」
URL：http://www.med.or.jp/japanese/members/etc/iryoku_keisou_jirei/index.html